

# 舟七 車輪

平成18年 3月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団  
TEL 0766-82-5181  
FAX 0766-82-5197

## 第99号

### 退任のご挨拶



海事課技術員  
笠置 雅志

時の経つのは早いもので任期の2年がもうすぐ静かに終わりを告げようとしています。仕事に私事、共に大変内容の厚い(熱い?)ものとなりました。皆さんと共に歩んだ2年間は

私にとって最高の経験、また最高の思い出として心に刻まれてゆくことでしょう。春の花見で酔って自転車で転がり重傷を負ったこと、夏の猛暑に死にかけたこと、秋の哀愁にたそがれたこと、冬の寒さに鼻水をのっぴりごっぴり垂れ流したことなど今となっては、ほろ苦くも微笑ましい妖艶な夢物語のようです。ようやく環境にも慣れてきたところでの異動ですので心惜しい気持ちも少なくありません。これからも海王丸は皆さんの手により暖かく守られていくと思います。そして20年後、さらに50年後も美しく優雅な姿を魅せてくれることでしょう。長くなってしまいましたが退任の挨拶とさせていただきます。超スーパーお世話になりました。また富山でお会いできることを楽しみにしております。富山の海の幸、山の幸ごちそうさまでした。それでは皆さん、ごきげんよう。



海事課技術員  
穠山 創一

皆さんお元気でお過ごしでしょうか。穠山です。富山に来て2年半が経ちました。なんとかクビにならずに任期を終えることが出来ました。4月からは日本丸に

乗船します。日本丸は、訓練所に入所して初めて乗った船なので、気持ちも新たに海上生活のリハビリには丁度良い船だと思

ます。また、前に乗船した時と比べて自分がどれだけ成長したか試すチャンスだと思います。富山では沢山のことを学びました。それらを活かして日本丸でも頑張ります！それでは最後に皆様のご健勝をお祈り致しまして退任の挨拶とさせていただきます。皆さん道路交通法を守りましょう。

### 2・3月の行事結果

#### ボランティア宿泊研修について

2月25、26日にボランティア宿泊研修を実施しました。今さら聞けないと思われがちな操帆やギヤ構成等の基礎を河原船長から講義していただきました。何のためにロープを引っ張っているのか理解できると、より一層楽しく作業ができそうです。とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

#### ペンディングセイルについて

3月4、5日は、それまでの降雪が嘘のような好天気恵まれ、順調に作業を進めることが出来ました。初日は、30名、二日目は、19名の方にご協力いただきました。ペンディングの翌日からは再度、雨天が続く、絶好の機会に取り付けることができたことを実感いたしました。貴重な時間を割いてご参加いただいたボランティアの方々、ありがとうございました。改めてボランティアの皆様の手際の良さに驚かされた二日間でした。

### 4・5月の行事予定

#### ボランティア新規養成訓練について

日時：平成18年4月8、9日(土・日)

今年一回目の新規養成訓練を実施します。去年の41名に引き続き、何人の仲間ができるか楽しみです。興味のあるお知り合いがいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

## ボランティア宿泊研修について

前号の舵輪にてご紹介しましたとおり、例年4月に実施していたボランティアの集いを廃止しました。これに伴い、ボランティア再訓練を宿泊研修というスタイルで実施します。コミュニケーションを取りつつ、年間を通じて事故の無いよう、登槽を含めて訓練いたします。ベテランの方も久しぶりに参加される方も新規ボランティアの方も一切の不安が無いように一緒に基本動作の確認をします。ふるってご参加ください。

なお、下記の日程の内、日程 またはのいずれかご都合のよろしい日程を返信ハガキにてお知らせ下さい。宿泊はできないけど参加したいという方もOKです。

日程 : 平成18年4月15, 16日(土・日)  
日程 : 平成18年4月22, 23日(土・日)

時間 : 初日午後13:00～翌日12:00まで

更衣 : 元実習生居室(当日指定します)

集合場所 : 海王丸第一教室

宿泊は困難でも再訓練の内容を受講されたい方は、その旨、ハガキの短信欄にご記入ください。なお、参加申込みをされた方は、自動的に食事の手配をしますので、無断で欠席された方や、食事のキャンセルが間に合わなかった方には、食事代金をお支払いしていただきます。

## 総帆展帆について



日時 : 平成18年4月29日(祝)  
5月7日(日)

午前10時～(受付は9時から)

場所 : 更衣 ; 交流センター研修室  
集合 ; 海王丸第一教室

その他 : 参加の出欠連絡は、同封のハガキ  
でお願いいたします。Eメールでの  
御連絡でも結構です。

参加連絡、総帆展帆実施可否メール受信  
希望者は下記まで御連絡ください。

by-the-wind@kaiyomaru.jp

## ちびっ子天国 in 海王丸パークについて

平成18年5月3日(祝)～7日(日)の間、ちびっ子天国 in 海王丸パークというイベントを実施します。期間中は、子供連れの家族が楽しめるような遊園地やフリーマーケット等楽しいイベントが開催されます。また、海王丸では、ステスルのミニ展帆をします。お誘い合わせの上、御来場ください。

## お知らせ

**重要なお知らせが含まれています。**

## 総帆展帆の参加賞名募集!

現在、総帆展帆に50回及び100回参加者に紺青賞並びに海王賞をお渡ししておりますが、総帆展帆の実施がすでに141回を数えています。これに伴い、150回、200回の新たな参加賞を新設することになりました。そこで、紺青賞、海王賞の次にふさわしい**賞の名前を募集**します。皆様のアイデアを振るってご応募ください。賞の名付け親ははたしてどなたか!?

アイデアは同封ハガキの短信欄にご記入をお願いいたします。採用された方には、次年度、海王丸トレーナーを色違いで進呈いたします。(毎回配布分+進呈分)

## ボランティア証有効期限の変更

ボランティア証の有効期限は、1年となっておりますが、この有効期限を修正し、**5年以内の財団会長が指定する期限**とすることになりました。これに伴い、今年4月以降に発行するボランティア証については、耐久性のあるものにします。次回以降に受け取られたものについては、**廃棄しない**ようお願いいたします。

## 海王丸トレーナーについて

海王丸PRのために、ボランティアの方には、Tシャツをお配りしているところですが、“トレーナーを是非”との声を多くいただき、Tシャツに代わってトレーナー

を作製いたしました。デザインは、昨年のTシャツと同様の物を希望された方が多くいらっしやいましたので、引き続き同じデザインにて作製しました。生地の色は、黒と濃いグレーの2色準備しております。いずれかお好みの1色をご指定ください。なお、参加者名簿から脱落されているボランティアの方（幽霊ボランティア）には配布を見送らせて頂きますのでご了承ください。



### 海王丸（船内）にE-mailを新設

海王丸の乗組員へメールを送り連絡を取ることができるようE-mailアドレスを設定しました。財団の事務所ではなく、船内の休憩室にてメールを送受信できます。ご用があっても無くても、以下のアドレスまで送信してください。

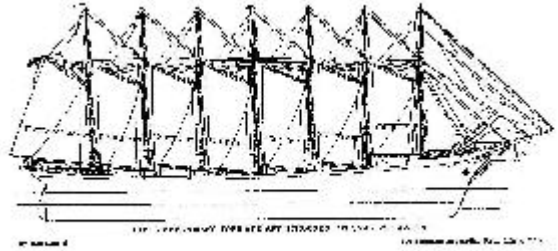
**kaiwo@kaiwomaru.jp**

ドメインに.comや.netを含む場合、及び、件名に不適切な語句が含まれている場合は、自動的にサーバーから削除されるよう設定されていますのでご注意ください。

### 「SP LICING THE MAIN-BRACE」

このところ続けておりました帆装に関する説明は今回で一区切りとします。今回ののは今までに存在した帆船の中で一番マストが多い船です。Thomas W. Lawson

（トーマス・W・ローソン）といます。



鋼製7本マストスクナーです。マストの上部、トップマストとマストの後ろに取り付けたブーム以外は全ての構造が鋼製です。1902年マサチューセッツ州にて北アメリカの沿岸航海用石炭運搬船として建造されました。ロアマスト（マストの下部）はキールから41.1m、その上に松でできた17.7mのトップマストが取り付けられました。7本とも高さは同じで水面から50m強ぐらいでしょう。総トン数5,218トン、全長（パウスプリットを含めず）117.3m、幅15.2m、上甲板からの深さ10.7mなので海王丸2世より一回り大きい船体に7本のマストが立っていると想像すればいいでしょう。

マストの呼び方ですが、これがいろいろと記録に残ってます。見にくいですが代表的なものを表にしてみました。上が前方のマスト、その下に後方のマストの名前です。mastの"mast"表記は省略しました。

No.1	Fore	Forecastle	Fore
No.2	Main	Fore	Main
No.3	Mizzen	Main	Mizzen
No.4	Spanker	Mizzen	After Mizzen
No.5	Jigger	Jigger	Jigger
No.6	Driver	Spanker	Driver
No.7	Pusher	After	Spanker

Fore	Fore	Fore	Sunday
Main	Main	Main	Monday
Mizzen	Mizzen	Mizzen	Tuesday
No.4	Jigger	Middle	Wednesday
No.5	Spanker	Spanker	Thursday
No.6	Driver	Driver	Friday
Spanker	Rudder	Pusher	Saturday

出典

建造時の図面

進水時の呼び方

進水後の呼び方

Capt. Frank Petersonが聞いた話

初代船長Capt. Arthur Crowleyの手紙

Capt. William Hollandの著書

Capt. Ernest D. Sproulの証言

Charles H. Lincolnの証言

推進機関はもちろんありませんでしたが、

フォクスル（船首楼）の下と後部船橋内にボイラーがあり、蒸気機関でハリヤードやシートを引けるようになってました。操舵装置も蒸気で駆動してました。

総帆で25枚ありましたが、ジブが5枚もありました。帆面積は3,994.8㎡なので海王丸の2倍弱です。一般的に縦帆船は帆面積が小さくなるのですが、これは船の大きさとマストの多さがその常識を覆しているのでしょう。

これだけ、大きな帆船でありながら操帆は僅か16人でできたのです。帆船時代の後期は人件費が上がってきてセイラーが多量に必要な横帆船は運航できなくなってきました。変わってこの船のように比較的操帆が容易な縦帆船が多くなり、さらに人員を減らすために簡単な蒸気機関も入れるようになったのです。

当初は主にテキサスとフィラデルフィアを往復していましたが、1906年に油槽船として改造し、さらにトップマストを取り外されました。これは操帆をさらに容易にして人員削減するためと、オイルタンクから出るガスの換気塔にロアマストを使用したためです。

その翌年、1907年12月アメリカから油を満載しロンドンに向け航海しましたが、イギリスの南にあるシリー諸島で嵐を乗り切るために錨を降ろしたところ、錨鎖が切れ座礁転覆し1名の生存者を除いて全員犠牲になりました。

20世紀になって蒸気機関、推進器が発達し、商業帆船は蒸気船に取って代わっていくのでした。しかし、現在でも練習船としての帆船はその存在価値が有益と認められ、商船教育、青少年育成、海軍訓練等多岐にわたり全世界に数多く存在しています。

次のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。



脚立の上に立ち天井燈を取り替えようとしている。

答えは次号で！  
（船員災害防止協会刊：商船KYTイラストシート集22より抜粋）

## 危険予知トレーニングvol.16

前回98号vol.15の答え



ペンキ缶運搬中。

《状況》  
ペンキ缶を荷車に載せて運搬中。

1. 片手を後方に伸ばして引いているのでギックリ腰になる。
2. 傾斜面にきたとき、ペンキ缶が落ちて人に当たりケガをさせる。
3. 荷車をひいているので、荷車が力カトに当たりケガをする。
4. 傾斜面にきたとき、ペン缶等の重みで後方に引きずられて転倒する。

## 終わりに

先日、妻の実家に里帰りした時のことです。義父、息子と3人で川辺を歩いていると、息子が突然しゃがみ、すぐに走ってこちらに来ました。その小さな手には大事そうに一粒の小石が握られていました。何気なく歩いて来たごく平凡な道なのに、2歳児には宝の山だったようです。この時、ハッとしました。矢継ぎ早に過ぎていく世の中、ありきたりな生活をしている内に、知らず知らず大切な何かを忘れていたような気分になりました。船乗りにとって、否、全ての人にとって家族と過ごせる時間の大切さはかけがえないもの。貴重な時間を大事にしたい。“後悔先に立たず”先人の言葉がグルグルと頭の中を回っていました。何も悔いのない時間を過ごすということは、簡単そうで実は永遠のテーマなのかも知れません。（ごっしー）